

表題；ハセッパの殺ウイルス効果試験
評価試験；昭和大学藤ヶ丘病院

注1. ハセッパはテクノマックスの登録商標です。

★当社のハセッパ水（次亜塩素酸・HOCl）は1968年ころの電気分解方式当時から注目されており、強酸性水生成装置は医療認可も下り殺菌のために使用されております。このハセッパ水の主成分である次亜塩素酸（HOCl）の安全性や扱いについては30～35年の歴史があります。

供試ウイルス

単刺ヘルペス（HSV）

親油性ウイルスで、主に、口腔や陰部から分離される。
感染すると歯肉口内炎、外部膿炎、角結膜炎などを引き起こす。

インフルエンザウイルス（Inf）

親油性ウイルスで、主に、呼吸気道、繊毛上皮細胞で増殖し、
感染すると悪寒、せき、頭痛、発熱、筋肉痛を引き起こす。

コクサッキーウイルス（Cox）

親水性ウイルスで、感染すると軽度の手足口病、
流行性胸痛症を引き起こす。

エコーウイルス（Echo）

無菌性髄膜炎、発疹症、咽頭炎や夏かぜの原因となる。

エンテロウイルス（En）

親水性ウイルスで、主に腸管で増殖する。出血性髄膜炎
などを引き起こす。

試験内容

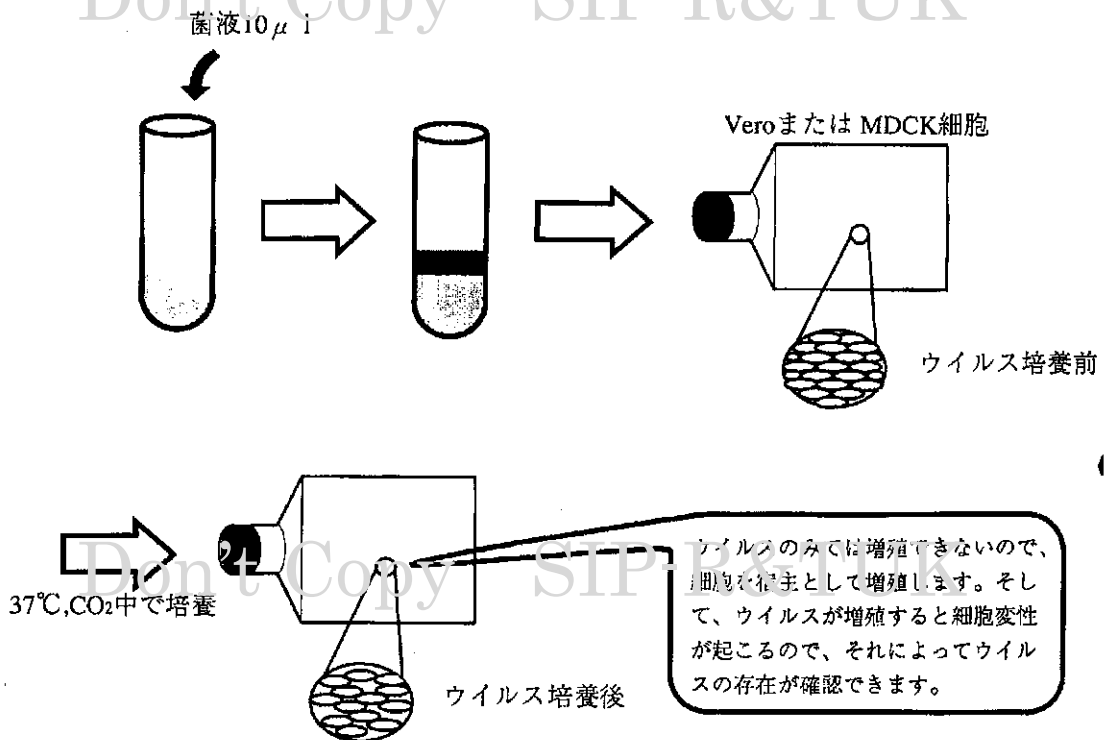
Don't Copy SIP-R&TUK

各種ウイルスをハセパー水と接触させます。このとき、ウイルスの生死を確認するために宿主となる培養細胞にウイルス液を撒き、培養細胞の変性で判定します。

試験方法

各種ウイルス液 $10\mu\text{l}$ をハセパー水 1ml に添加し、室温で5秒後、各種細胞へ $10\mu\text{l}$ 添加し、 37°C 二酸化炭素中で培養後、細胞変性の有無を判定した。

Don't Copy SIP-R&TUK



Don't Copy SIP-R&TUK

試験結果 Don't Copy SIP-R&TUK

供試ウイルス		TCID ₅₀ /ml	5 sec	15 sec	30 sec	60 sec
HSV	HF	10 ^{8.5}	—	—	—	—
	UW	10 ^{8.3}	—	—	—	—
Inf	A/PR/8	10 ^{6.6}	—	—	—	—
	A/Tokyo/2/75	10 ^{5.9}	—	—	—	—
	AA/FM/1/47	10 ^{5.7}	—	—	—	—
	I/JSSR/92/97	10 ^{5.6}	—	—	—	—
CoxA	9	10 ^{3.5}	—	—	—	—
	16	10 ^{4.9}	—	—	—	—
CoxB	1	10 ^{5.0}	—	—	—	—
	2	10 ^{6.3}	—	—	—	—
	3	10 ^{6.4}	—	—	—	—
	4	10 ^{6.4}	—	—	—	—
	5	10 ^{6.9}	—	—	—	—
Echo	7	10 ^{4.4}	—	—	—	—
	18	X	—	—	—	—
	27		—	—	—	—
En	71	10 ^{4.5}	—	—	—	—

どのウイルスに対しても5秒で不活化し、優れた抗ウイルス効果が確認できました。

TCID₅₀/mlとは？

ある濃度のウイルス液を希釈して培養したときに、培養細胞を50%細胞変性を起こす希釈倍率の逆数を示しています。つまり、数値が大きいほどウイルス濃度が濃いことになります。

まとめ Don't Copy SIP-R&TUK

病院では血液や体液の付着した器具、シーツ等が毎日のように洗浄されています。これらを取り扱う人や医療従事者の方々は、非常にウイルス感染しやすい環境で仕事をしているわけです。このような環境を改善するために院内衛生管理が行われています。これに、**tec**mの**ハセッパー水** を使用して頂ければ、病原性細菌はもちろんウイルスも十分に不活化が可能となります。

しかも、本試験条件では5秒という短時間でウイルスが、不活化されています。実際に病院内の衛生管理に使われる場合、ウイルス血液などの有機物中には存在していますから、十分な量の**ハセッパー水** をお使い下さい。

一口メモ

病院内で使用されている消毒剤には強力な殺菌効果および殺ウイルス効果をしめすものがありますが、人体に対する影響も強く取扱には注意が必要です。しかし、前節の動物安全性試験の結果から **tec**mの**ハセッパー水**は 人体への影響はほとんどありませんので安心してご使用になれます。

Don't Copy SIP-R&TUK

以上